

2019年度卒業論文提出予定者へ

(社会学専攻と社会情報学専攻・情報コミュニケーションのゼミに所属する
社会学専攻の学生が対象)

中央大学 文学部 社会学専攻(2019.4)

卒論提出時には社会学研究室に ①卒論の複製 ②CD-R ③卒業論文提出にあたっての誓約書 を提出することになります。

注意事項

1. 原則は、パソコン(デジタルデータ)での清書とします。手書きでの提出を希望する者は、2019年9月末日までに、9Fの社会学研究室に届け出てください。
2. CD-Rの表面には、油性インクを使用して、直接 1)2019年度卒業論文、2)学籍番号、3)氏名、4)卒論タイトル(*1)、5)作成ソフトウェアの名前(例 Word等)、6)保存ファイル名(*2)、7)提出日、の7点を記入して下さい。

記入例)



- * 1. 提出した卒論のタイトルとまったく同じものを書くこと(副題は場合によっては省略してもよい)
- * 2. 保存ファイルは、提出日・氏名(指導教員)の形を必ず守ってください!! 例.201912**中央太郎(☆☆先生)
- * 3. 原則として必ず1つのファイルにすること。どうしてもまとめられない場合は、1つのフォルダにまとめること。

※CDROM版で以下のような不備が発見された場合は、卒論の最終審査の判断材料ともなり得るので不備のなきよう厳重にチェックしてください。(例2017年度・2018年度卒業論文CD-Rの不備に関して)

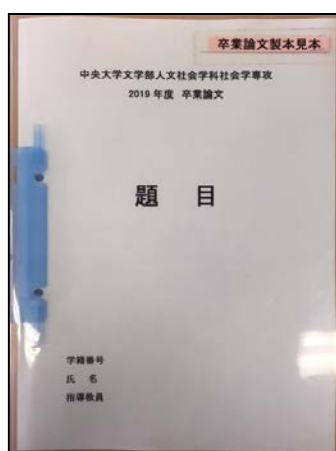
- ①. ファイル名に指導教授名が含まれていない。
例) CD-Rの表面に記入されたファイル名 実際のファイル名
「20181214 氏名(指導教授名)」 → 「20181214 氏名」
- ②. CD-Rの表面に記入してあるファイル名とは別の名前のファイルが複数保存されていた。
例) CD-Rの表面に記入されたファイル名 実際のファイル名
「20171215 氏名(指導教授名)」 → 「20171215 氏名 1(指導教授名)」
「20171215 氏名 2(指導教授名)」
「20171215 氏名 3(指導教授名)」
- ③. ファイルの中身が、目次から保存されていて、題目の記載部分が入っていなかった。

<CD-Rの提出における留意点>

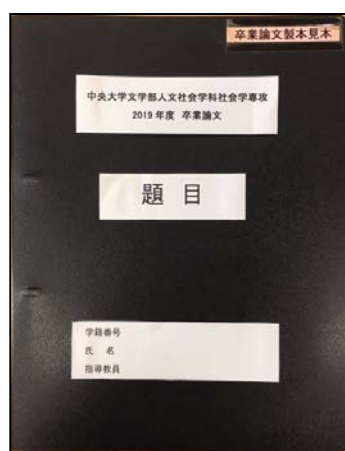
CD-Rはフルテキストの形式で提出してください。この場合、フルテキストとは、プリントアウトされたものと同じ内容のものであり、CD-R上のレイアウトもプリントアウトされたものと同じである。すなわち、見出し、文字種、書式、頁付け、図表の挿入など編集レイアウトされたものである。

3. 紙の論文は2万字以上。論文の最後に文字数を入れることがのぞましい。提出先は文学部事務ですが、CD-Rの提出先は社会学専攻の学生は9階の社会学研究室とします。
4. 卒業論文は製本されていなければなりません。製本とは下記のものをさします。
 製本されていない（綴じられていない）論文は、卒業論文として認められません。
 原本と複製は同じ形で製本します。ここで言う同じ形とは、原本で選んだファイルと複製で選んだファイルは同一の書式とすることを指します。同じ形で製本していないものは受理しません。
 原則としてこの3つの書式のいずれかで提出すること。色は自由（更に分厚い場合は、教員に要相談）。製本された卒論の見本は、研究室にあります。
 論文の表紙には必ず、「中央大学文学部人文社会学科社会学専攻 2019年度 卒業論文」と記すこと。
 「卒業論文」と「卒業研究論文」は名称が異なります。「卒業論文」は「卒業研究論文」ではありません。年度も間違えないように注意すること。

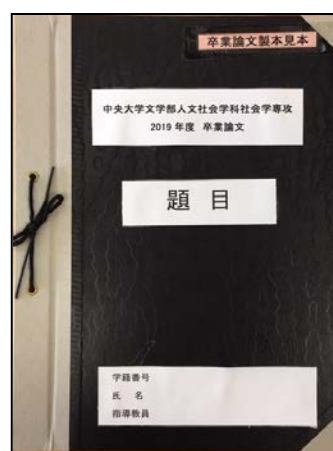
例)



透明ファイル



カラーファイル



綴込表紙（黒表紙）

ファイルの購入については、社会学専攻で社会情報学専攻のゼミに所属している学生については、特に注意をすること。社会学専攻の書式にあわせないと受けつけられません。
 必ずこの形式を守って下さい。
 社会情報学専攻で社会学専攻のゼミに所属している学生は社会情報学専攻の書式に従って下さい。